

平成29年度 開明中学校・高等学校 学校評価

1 めざす学校像

<p>【建学の精神】 校訓「研精而不倦」(本校では、知・徳・体すべてにわたって自己を磨き続けることと解し、教育活動の実践的な柱としています。)</p> <p>【教育目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 男女共同参画社会において、社会のリーダーとして活躍する人間の育成 2 文系・理系を問わず、理数の素養を身につけ、21世紀の情報化社会に対応できる人間の育成 3 世界的視野に立ち、国際感覚に富む人間の育成 4 思いやりの心を持ち、社会的常識を備えた人間の育成 5 正しい生活習慣を身につけた、心身ともに健全な人間の育成
--

2 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 学習指導・進路指導 <ol style="list-style-type: none"> (1) 授業改革(これまでの小テストを中心とした学習スタイルから、よく考えて勉強するいい学習習慣への転換を図るべく、学校全体で「授業改革」というスローガンを掲げて進める。) (2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求 (3) 指導力の向上 2 生徒指導・人権健康教育 <ol style="list-style-type: none"> (1) 授業規律 (2) 校則遵守 (3) いじめの防止 3 行事・クラブ活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 行事への積極的な参加 (2) クラブ活動への自由な参加 4 施設・設備 <ol style="list-style-type: none"> (1) 新校舎のフル活用

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [生徒・保護者：平成29年12月実施、教職員：平成30年2月実施]	学校評価委員会からの意見
<p>【生徒】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私のクラスでは、内容の分かりやすい授業が多い。(中学 肯定率 91.4%。昨年度より 4.3%増。) ・ 私のクラスに来る先生は授業の教え方を工夫している。(中学 肯定率 88.2%。昨年度より 7.0%増。) ・ この学校の先生は、色々な問題を見逃さずに対応してくれる。(中学 肯定率 80.2%。昨年度より 7.5%増。) <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私のクラスに来る先生は、宿題や課題をよく出す。(高校 肯定率 87.7%。昨年度より 10.0%減。) ・ この学校は、施設設備について、日常的に点検・補修を行ない適正に管理している。(高校 肯定率 73.3%。昨年度より 9.5%減。) ・ この学校の給食は充実している。(中学 肯定率 36.0%。昨年度より 6.9%減。) <p>【保護者】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この学校の先生は、保護者の相談に適切に応じてくれる。(中学 肯定率 89.3%。昨年度より 3.9%増。) ・ クラブ活動は、活動を希望する生徒が楽しく参加できるように行なわれている。(中学 肯定率 74.7%。昨年度より 10.9%増。) <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この学校は、地震や台風など非常時の緊急連絡体制を保護者に知らせている。(中学 肯定率 78.5%。昨年度より 10.3%減。) ・ この学校は、シラバスの公開など学習の指導方針を適切に保護者に伝えている。(高校 肯定率 78.4%。昨年度より 7.4%減。) <p>【教職員】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私は、懇談を通じて、生徒の学習状況や進路目標をつかむとともに、生徒の状況について保護者と共通認識を持っている。(肯定率 100.0%。昨年度より 4.2%増) ・ 本校では、学校行事の意義を重視し、それぞれの行事を年間教育計画の中に位置付け、生徒が積極的に参加するように指導している。(肯定率 83.8%。昨年度より 3.7%増。) 	<p>平成30年5月19日に学校評価委員会を開催。</p> <p>昨年度に比べ約2%アップしたとはいえ、高校生徒および高校保護者の回収率が50%台に留まった。より多くの意見を反映させるために、さらに回収率が上がるように、方策を考えたい。</p> <p>中学生徒・高校生徒の学習指導に関するほとんどすべての項目で肯定評価が80%以上であることは評価したい。</p> <p>一方で、中学生徒・高校生徒の進路や生活指導の項目で肯定評価が60%台のものがいくらかある。これらの面での指導も更なる改善を求めたい。</p> <p>新規項目「私には読書の習慣がある」の肯定評価が低い。書物を読むということは非常に大切なことだと考えるので、読書の習慣が身につく取組みを求めたい。</p> <p>新規項目「私は学校の自習室をよく利用している」の肯定評価が低いが、どの学年も放課後学習会を教室で行なっているのがその一因であろうと考えられる。</p> <p>中学の給食に関しては、偏食する生徒やダイエットなどで故意に残す生徒も多いと考えられ、「この学校の給食は充実している」の項目の肯定評価が低い一因になっていると考えられる。しかし、いずれにせよ、給食業者とよく協議し、改善していきたい。</p>

<p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校では、個人情報の管理については特段の配慮がなされている。(肯定率 64.0%。昨年度より 11.3%減。) ・ 本校では、問題行動の防止に向け、キャンペーンを張るなど早期指導を心がけている。(肯定率 58.1%。昨年度より 13.6%減。) 	
---	--

3 PDCAサイクルに基づく学校の重点目標に対する評価結果

中期的目標	Plan		Do	Check	Action
	重点的に取り組むことが必要な目標	評価指標	取組状況	達成状況	今後の改善方策
1 学習指導・進路指導	(1) 授業改革	ア「私のクラスでは、内容の分かりやすい授業が多い。」(生徒アンケート) イ「私は、予習や復習をして授業を受けている。」(生徒アンケート)	ア 基礎学力の定着と学習意欲の向上に努め、手厚く丁寧な学習指導を実践 イ 予習復習にきちんと時間を割き、授業を中心とした学習スタイルを身に付けさせる	ア 中学 肯定率 91.4。昨年度より 4.3%増。 高校 肯定率 85.2%。昨年度より 3.6%減。 イ 中学 肯定率 58.1%。昨年度より 3.2%減。 高校 肯定率 71.7%。昨年度より 4.6%減。	引き続き分かりやすい授業を追求していく一方、授業内容の吸収のためには予習・復習が大切であることを生徒に浸透させていきたい。
	(2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求	ア「H.R(道徳)の時間などで将来の進路や生き方について考える機会がある。」(生徒アンケート)	ア 進路講演会の実施やH.R(道徳)などで将来の進路や生き方について考えさせる	ア 中学 肯定率 64.3%。昨年度より 3.2%減。 高校 肯定率 69.8%。昨年度より 6.9%減。	29年度は平和医療団の医師中村哲氏をお招きし、全校生徒を対象に進路講演会を実施した。また、高校1年生対象に、卒業生による大学・学部・研究内容の紹介イベントも行った。次年度以降もこのような進路を考えさせる取組みを継続したい。
	(3) 指導力の向上	ア「本校では、教員間で授業を見学したり、授業の内容等について意見交換を行う機会を設けている。」(教職員アンケート)	ア 研究授業(教員間での授業見学)の実施により、指導力のアップを図る	ア 肯定率 79.1%。昨年度より 0.9%減。	年3回、各教科全員参加の研究授業を行ない、その後に教科会議も開いているが、内容をさらに充実させていきたい。
2 生徒指導・人権健康教育	(1) 授業規律	ア「私のクラスに来る先生は、私語や居眠りなどはよく注意する。」(生徒アンケート)	ア 授業規律についての基本的な考え方を確認し、指導の統一性を図る	ア 中学 肯定率 87.4%。昨年度より 4.1%減。 高校 肯定率 78.2%。昨年度より 7.8%減。	授業は学校生活の中心であり、授業規律は良い授業の前提である。さらなる改善を追求したい。
	(2) 校則遵守	ア「私は、校則を守っている。」(生徒アンケート)	ア 校則(あいさつの励行、環境美化、服装、頭髪、礼儀、通学時のマナー、男女交際等)の遵守に努める	ア 中学 肯定率 86.1%。(今年度からの新規項目) 高校 肯定率 87.9%。(今年度からの新規項目)	肯定率は高いが、校則遵守の意識をさらに高めていきたい。
	(3) いじめの防止	ア「この学校は、人権侵害や差別を許さない教育、特にいじめの防止にはしっかり取り組んでいる。」(生徒アンケート)	ア いじめは絶対許さないというクラスの雰囲気づくりや人間関係づくりに努める	ア 中学 肯定率 81.8%。昨年度より 1.3%増。 高校 肯定率 78.9%。昨年度より 5.7%減。	引き続き、「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止に取り組んでいきたい。

3 行事・ クラブ活動	(1)行事への積極的な参加	ア「行事は、生徒みんなが楽しく参加できるように行なわれている。」(生徒アンケート)	ア 行事の意義を理解させ、生徒の積極的な参加を図る	ア 中学 肯定率 80.1%。昨年度より 2.7%減。 高校 肯定率 73.3%。昨年度より増減なし。	本校で実施される多くの行事のひとつひとつの意義を明確にした上で、生徒がいきいきと参加できるような取組みになるよう、引き続き改善を図りたい。
	(2)クラブ活動への自由な参加	ア「クラブ活動は、活動を希望する生徒が楽しく参加できるように行なわれている。」(生徒アンケート)	ア クラブ活動の役割を重視し、より多くの生徒が参加できるよう態勢を整え、クラブ活動の活性化を図る	ア 中学 肯定率 75.9%。昨年度より 0.4%減。 高校 肯定率 74.1%。昨年度より 1.7%増。	本校では、勉強とクラブ活動との両立が無理なくできるようにとの趣旨で「クラブ活動基準」を設けており、誰でも参加しやすい形になっている。楽しく参加できる生徒がもっと増えるように努めたい。
4 施設・設備	(1)新設備のフル活用	ア「この学校の施設設備は、学習環境の面でほぼ満足できる。」(保護者アンケート) イ「この学校の給食は充実している」(中学生徒アンケート)	ア 新校舎の施設・設備を最大限に活用し、教育水準のグレードアップを図る イ 栄養バランスの良い献立で、美味しく安全な料理の提供を図る	ア 中学 肯定率 92.7%。昨年度より 1.1%減。 高校 肯定率 90.8%。昨年度より 0.6%増。 イ 中学 肯定率 36.0%。昨年度より 6.9%減。	29年度は地下温水プールの稼働率を高め、水泳の授業時間数を増やした。また、オンライン英会話をパソコン教室を利用して実施した。年度途中からは全教室に電子黒板が設置され、授業の進め方の可能性が広がった。こういった施設の有効利用をさらに進めたい。 給食については、引き続き生徒の意見もよく聞き、給食業者とも相談して改善を図りたい。